

**地盤品質判定士会中部支部**  
**令和6年度 第3回 幹事会 議事録**

- A. 日時 2024年9月5日(木) 15:00～16:30
- B. 場所 基礎地盤コンサルタンツ(株)中部支社 1F 会議室 および Zoom
- C. 出席者 千野[W]、桃井、利藤[欠]、向井、谷口、長沼[W]、居川、北林[欠]、小嶋、斉藤[W]、堀中[欠]、倉橋[W]、藤代、小山[W]、後藤[欠]、品川[W]、金森[W]、山名、植田[W]、高森  
([欠]は欠席、[W]は Zoom 参加、敬称略、順不同)

D. 配布資料

- ・報告-1 地盤品質判定士会中部支部 令和6年度第2回幹事会議事録の確認 (幹事長)
- ・報告-2 本部幹事会報告 (支部長)
- ・報告-3 地盤に関する問い合わせ状況 (調査 G)
- ・報告-4 その他報告
- ・審議-1 本部幹事会 9/11 の開催について (幹事長)
- ・審議-2 講演会(9/27)について (行事 G)
- ・審議-3 減災センターとの連携活動について (行事 G)
- ・審議-4 その他

E. 報告事項

1. 前回議事録の確認 (報告-1)

前回幹事会(7/19)の議事録を確認した。

2. 本部幹事会報告 (報告-2)

本部幹事会は9/11に実施予定であり、今回の報告事項はない。

3. 宅地に関する問い合わせ状況 (報告-3)

3-1 相談状況について

期間中、1件の無償相談があり、後藤幹事が対応した。相談の詳細については、SAMBAに保存している。

- ・L型擁壁の沈下による建築物、土地への影響について

3-2 相談実施状況

相談件数は去年よりは遅いペースである。今後、メディアに取り上げられるなどにより相談が急増する可能性がある。

#### 4. その他報告（報告-4）

##### 4-1 マスコミからの取材協力について

中部支部へ『愛知県の液状化』についての話題で、マスコミからの取材・撮影協力依頼があった。今回の件は要求条件等により不調となった。ただし、放送で液状化に関する相談窓口の1つとして地盤品質判定士会を紹介していただく可能性がある。今後、一般の方々を含めて液状化に関する以下のような問い合わせが発生する可能性がある。判定士会内で回答に関して準備が必要と考えられる。

- ・ 建築前, 建築後にそれぞれどのような液状化対策方法があるのか
- ・ 液状化対策費用の概算について。
- ・ 液状化対策工や調査に対する補助金が出る自治体はあるのか

##### 4-2 地盤品質判定士検定試験について

本年も地盤品質判定士検定試験が名古屋会場でも実施される。中部支部から試験監督員として千野支部長、居川副支部長、小山幹事、堀中幹事、高森幹事が対応する。

##### 4-3 地盤工学会中部支部との連携覚書きについて

地盤工学会中部支部との連携について、進捗状況の報告があった。地盤工学会中部支部側は支部長(副支部長)、幹事長、企画委員長[連絡窓口]が対応され、判定士会中部支部側は千野支部長、居川副支部長、桃井幹事長が対応する。調整会議は10月を目標としており、年度内での締結を目標として進めている。

連携後の連携協議会の実施については、年度当初に後援依頼していただく事業計画についてメール確認程度で出来ないかと考えている。

判定士会本部との調整については、9/11の本部幹事会で議題に挙げてもらう。

##### 4-4 地盤工学研究発表会の開催に関して

2026年7月に地盤工学研究発表会が静岡県で開催予定である。2017年に名古屋市で開催された時には、判定士会本部運営による『住宅地盤相談会』や『講演会』が実施されており、2026年では中部支部の運営による催し物を実施することになると思われる。

##### 4-5 地盤工学サロンの案内について

地盤工学会中部支部シニア部会が企画するオンラインセミナーと視察研修について紹介をいただく。興味のある方々を誘いぜひ参加を検討されたい。

#### F. 審議事項

##### 1. 本部幹事会の中部開催について（審議-1）

本部第3回幹事会が9/11に中部で開催される。その際に本部幹事との意見交換に用いる資料について確認した。

資料の他、以下についての要望・質問案が挙げられた。

- ・ マスコミ対応に対するマニュアルが必要である
- ・ 東北支部での問題提起に対する結論について

- ・地盤相談に対応する判定士へのバックアップについて
- ・地盤相談(無償対応・有償対応・業務契約)に対する今後の展望について

## 2. 中部支部講演会について (審議-2)

### 2-1 応募状況

9/5 時点で申し込みは 25 名前後である。幹事会を通じた動員で見通しは 40 名程度であり、最低限目標の 50 名以上の確保が必要である。判定士会・地盤工学会中部支部・中部地質調査業協会へ再度の案内を出していただくよう依頼する。

9/13 時点の申し込み状況を倉橋主査より情報共有頂き、更なる対応(締切延長など)を検討する。

### 2-2 作業割り当てについて

講演会までの作業および講演時の作業について、行事Gの作業割り当てについて確認した。当日の細かな割り当てについては、直前のミーティング時に確認する。

新しくなった判定士会のパンフレットの中部支部版を印刷し、会場で配布する。

地盤工学会中部支部のパンフレットは向井顧問が対応する。

閉会挨拶の担当は居川副支部長となっているが、出席できない場合は桃井幹事長が対応する。

## 3. 減災連携研究センターとの連携活動について (審議-3)

来年の地盤品質判定士会中部支部総会の実施後に減災連携研究センターと懇親会を計画してはどうか。その際に、総会に参加していただいた方々も同時に応募を募ってはどうか。センターとの打合せ時に提案してみたいと考えている。

## 4. あいち防災フェスタについて (審議-4)

11/10 に開催される『あいち防災フェスタ』に今年も参加予定である。参加の申請については千野支部長に対応いただく。当日の参加者については次回の幹事会で確認する。

## G. その他

今回、中部支部へ初めてマスコミからの取材協力依頼があったが、要求条件等により今回は不調となった。今後もまた取材や協力の依頼が予想されるため、対応についてのマニュアル作成については準備をしておく必要がある。

## 次回幹事会の予定

- ・2024年11月1日(金)予定

以 上